



中島 正樹

就任後、初めての  
予算編成だが

市長 課題は多い



**中島** 小城市として市長が考える財政的課題とは何か。その対策は。

**市長** 社会全体で少子高齢化や人口減少が進む中で、社会保障費などの義務的支出が年々大幅に増加していく一方で、地方税などの収入が伸びにくい歳入構造になっていると考える。歳入をいかに確保し、増やしていくのが、財政上の大きな課題だととらえて、行政運営を行っていく。

**中島** ふるさと応援寄附金の取り扱いは。

**市長** 8年度から施設の維持管理には充てないよ

うにした。そして、寄附者の思いを尊重し、財源の安定化と年度間の調整を図る観点から基金積立額を増やし効果的に使っていく。

その他の質問  
○都市下水路について

過疎化対策事業

**中島** 過疎債を充当し、芦刈町が元気になる事業の取り組みは。

**市長** 過疎債を財源に、有効活用し、本来に芦刈町がプラスになるような施策に取り組んでいきたい。



▲市長就任後、初めての予算編成



前田 博己

学校でタブレット  
活用できているか

学校教育  
担当部長 活用の取り組みを推進  
していきたい



**前田** 小中学校のタブレット活用について、県内20市町の活用・利用状況について積極的に使用されている自治体と全く利用できていない自治体で大きな差がある。私と比較対象としてある自治体からいただいた活用状況を示す資料ではほぼ毎日使用が約84%、小城市は約29%。小城市が本来なら小中学生に対して提供しなければいけなかった、提供できていたはずの学びの機会、デジタル活用の機会を十分に活用できたのか、今後どのような対策を打ち出しているのか。

**学校教育担当部長** タブレットの活用については、確かにおっしゃる通り、学校や教職員によって活用の頻度や方法に差が見られると感じている。今後も学習内容や学習場面に応じた効果的な活用についてさらに研究を進めて、活用状況を示す数字の向上に向けて様々な取り組みをしていきたい。



▲デジタルネイティブな世界



泉 万里江

安全安心な小城市  
にするためには

市長 災害に強い地域づくりを進め  
ていきたい



泉 市民を守るための  
災害に関する情報伝達の  
工夫は。

建設部長 災害が予測で  
きる場合は、明るいう  
ちに避難ができるよう  
に防災行政無線、ホー  
ムページ、小城市公式  
LINE、ogiojiアプリ、  
メールなど多重に発信。  
公式LINEは令和6年  
に運用を開始し、令和8  
年3月には開始時から約  
2・9倍の登録者となっ  
ている。

断層帯による地震では避  
難者数は1万1千人を想  
定している。食料備蓄は  
最低3日分9万9千食、  
水9万9千ℓ(500ℓ  
ペットボトルで19万8千  
本) 必要だが、食料は約  
8万4千食、水約17万5  
千本不足している。

泉 市の備蓄には限界  
がある。市民への自助の  
啓発は。

総務部長 最低限の食  
料、水、トイレ等の備蓄、  
家具の転倒防止、ハザー  
ドマップの確認、家族の  
避難計画作成など自動行  
動の促しや、ローリング  
ストック(日頃より食材  
や日用品を買い置きし、

泉 災害時、小城市の  
想定避難者数と市の備蓄  
の現状は。

総務部長 最低限の食  
料、水、トイレ等の備蓄、  
家具の転倒防止、ハザー  
ドマップの確認、家族の  
避難計画作成など自動行  
動の促しや、ローリング  
ストック(日頃より食材  
や日用品を買い置きし、



▲蓄える→食べる→補充するという防災  
(政府広報オンラインより引用)

使った分を補充する防災  
の考え方)が推奨されて  
いることを啓発していく。

その他の質問

○高齢者の交通手段の  
利便性向上について

○重度心身障害者医療  
費助成の手続きの簡  
素化について



片瀨 勝也

道標の撤去と  
看板の設置

産業部長 所有者の確認と撤去も含め安  
全対策を行う



片瀨 古くなった道標が  
老朽化し、今にでも倒れ  
る状態と危険性もあるた  
め早急な対応が必要。

産業部長 ムツゴロウ公  
園のグラウンド北側にあ  
る道標は、船の航路を示  
すものとして設置されて  
いたが、海の埋め立てに  
より利用されなくなっ  
た。55年余りの月日が経  
過しているため、所有者  
の確認を先決とし明確に  
した後、立ち入れない柵  
の設置から撤去も含め安  
全対策を考える。

片瀨 ムツゴロウの看板  
の設置について3回目の  
質問になるが、その後の  
考え方は。

産業部長 過疎指定を受  
けている芦刈地区を中心  
に観光振興を図ることを  
目的に、海遊ふれあい  
パーク、オートキャンプ  
場の充実などの計画も進  
めている。施設の案内の  
際については、必要性等  
を考慮しながら考えてい  
く。



▲老朽化した道標



赤松 貴子

小城市総合計画について



市長 今後の施策の考え方、方向性について示している

赤松 多世代の多くの方の声や願い、思いが詰まったプロセスを経た総合計画をこれからどのように考えているか。

市長 目指すまちの姿として、小城市で生まれ育った人が小城市で住み続けられる、小城市に人が集まってくるという姿を描いた。小城市に人が集まってくるというイメージは観光や仕事で小城市を訪れていただく、小城市外から小城市に来ていただく、また小城市にお住まいの方、ご出身の方が小城市に移り住んでいただくというイメージ。

施策を総合的に展開す

るといふ方向性で、「安全・安心の地域づくり」「地域を支える産業の振興」「人にやさしい小城市づくり」の三本柱として掲げている。またそれをベースとして人材育成をしつかりと取り組んでいく。

赤松 地域福祉の充実における現状と課題は。

福祉部長 多様な課題に対応するために、現在、複数の担当課で連携して対応して



▲市民会議というプロセスを経た総合計画へ



秋丸 昌之

小城市の災害対策について



市長 防災対応力災害対応力の向上が重要

秋丸 令和元年、令和3年の豪雨により、浸水被害の大きかった牛津川下流域のその後の対策の取り組み状況は。

建設部長 国交省武雄河川事務所が行っている、ポンプ停止等避けるような取り組みとして、遊水地事業。砥川の新屋敷地区での引堤、河道全域の掘削。県土木事務所管轄で牛津川支流になる牛津江川、晴気川等々の護岸整備。小城市の建設課の取り組みで7箇所排水機場のポンプ整備の計画的な更新を行っている。

産業部長 事前落水の取り組み、上流側での田

秋丸 んぼダムの取り組みを実施している。

秋丸 対策の効果は。

建設部長 ある一定の水位の低下、護岸の強化など、被害の軽減に寄与している。

秋丸 砥川地区の冠水の原因と対策について。

建設部長 内

砥川地区から流れ込む宮川水路、これが羽佐間水道と合流することによってこの羽佐間水道が増水し、あふ

○田んぼダムについて

その他の質問



▶頻繁に冠水する宮川水路羽佐間水道合流地点



中尾 勝吉

運動公園計画跡地の  
今後は

市長  
民間の方々の力を借り様々な  
可能性を探る



**中尾** 長年、放置されて  
いる小城市の運動公園計  
画跡地を今後どうするの  
か。

**市長** 様々な民間の方と  
会い意見交換や情報交換  
を行い、活用策の検討や  
関連企業への紹介等を行  
う。そして、様々な可能  
性を探る。

**中尾** 公園計画跡地につ  
いて現在の状況は。

**総務部長** 計画跡地につい  
ては面積が約13ha。当時  
の土地取得額は約3億9  
千万円で購入している。

**産業部長** 公園計画跡地の  
一部は市民農園として貸



▲貸し出されているふれあい農園

し付けている。また、他  
には「山辺の道」として  
管理している。

**中尾** 今後、公園計画跡  
地はどうするのか。

**市長** あの場所は現実的  
にむずかしい問題であ

る。何ができるのか、民  
間の力を借りていくのが  
基本的な考え方。どのよ  
うな可能性があるのか、  
これからも探らせていた  
だきたい。



松尾 義幸

送迎時、牛津駅  
ロータリーは危険

市長  
何らかの対応を考えなければ  
ならない



**松尾** 日本共産党が昨年  
末から今年初めにかけて  
行った市民アンケートに  
基づき、牛津駅周辺整備  
について質問する。

①牛津駅は夕方の迎えの  
車でロータリー部分から  
はみ出し、車道を塞いで  
危険だ。状況を把握され  
ているか。  
②JR九州に牛津駅南口  
の開設と自動改札を求め  
ること。

**市長** ①牛津駅の北口が  
整備され、その結果いろ  
んな車が並んでいる状況  
は承知している。これに  
対する何らかの対応は考  
えなければならぬ。  
②JRのほうは、いろん  
な要望なり意見交換は当



▲送迎時、危険な状況となっているロータリー

然やっけていきたい。南口  
をどこに開設するかによ  
って人の流れが大幅に  
変わり、商店街の中を通  
らなくなる可能性もあ  
り、簡単な問題ではない。

**松尾** 平成27年4月24日  
付で、小城市長に対して  
牛津まちづくり協議会が

JR牛津駅南口の開設と  
快速電車停車に関する要  
望を10,556人の賛  
同を得て提出している。  
市長はこれを読まれたか。

**市長** 平成27年のご要望  
に対するやり取りは、拝  
見している。



諸泉 定次

総合計画に加筆  
修正ができるのか

副市長

総合計画は覚悟を持って出している



諸泉 総合計画は最上位の計画であり、小城市の10年先を見通して前期5年、後期5年の計画が出されている。

基本計画なので具体的な記載はないが、例えば「計画的な市有地の利用のあり方」や減災・防災での「空き家対策」、そして普遍的な「平和行政の推進」などの記載が欲しかった。

20年前、私が新人議員の頃、小城市が誕生して同じように総合計画が出され、分厚い冊子に「平和」の2文字がなく入れて欲しいと言った。結果は一切記載はなく、説明もなかった。  
今回、このまちの方向

性の基本構想で、分担されて、誰が書いたのか。

総務部長 関係課長・副課長による総合計画策定

専門部会と副市長・部長による総合計画策定推進委員会を経て、最終的に経営戦略会議で組織決定している。

諸泉 市役所・議会が一緒に練り上げたものではないと責任の所在が不明確。加筆修正はできるのか。

副市長 パブリックコメントを実施しており、覚悟を持って出している。

副市長



▶平和都市宣言の懸垂幕  
議員の働きかけで実現



谷田 信二

今後の私立高校  
入学試験について

教育長

情報提供並びに進路指導の充実を測っていく



谷田 高等学校等就学支援金制度が始まるが、今後の私立高校入学試験についての考えは。

教育長 私立高校等の対応を注視し、生徒や保護者が適切に進路選択ができるような情報提供並びに進路指導の充実を図っていききたい。

谷田 三日月小学校の体育館は、現在7個の電球が切れている状況で非常に暗く、雨の日特に暗いと感じているが。

教育部長 三日月

小学校の体育館については、全体的にはほかの学校の体育館と比較して暗く感じることもある。原因として、

複数の照明ランプの昇降機能の老朽化による不具合により照明ランプの

学校施設の照明のLED化について

谷田 今後の取り組みについての考えは。

市長 国の補助金等も活用しながらLED化を順次進めていきたい。具体的な進め方については大



▲道路幅員が狭い四条三ヶ島2号線

○市道及び通学路の安全対策について

その他の質問

交換ができない状況。



西 正博

小城市へ人の流れ  
をどう呼び込む



市長  
市内へ人が来るよう民間へ  
スでも進めたい

西 市長は施政方針で

民間と連携して市への人の流れを呼び込むとともに

経済効果につなげる仕組みづくりに取り組みと述べているが、どの程度の規模なのか、また、具体的な施策の考えを伺う。

市長 抽象的な言い方になるが、県全体の人の入り込みは唐津とか佐賀とかの大きなところによく、小城市にはあまり人が来ていないデータがある。何とかして市内を訪れる集客を増やしたいと考える。また、市内の施設へ人の流れがあっても経済効果への結びつきが弱いと感じている。民間の力を借りながら、市

内で金を使ってもらう仕組みをつくっていく必要があると考える。

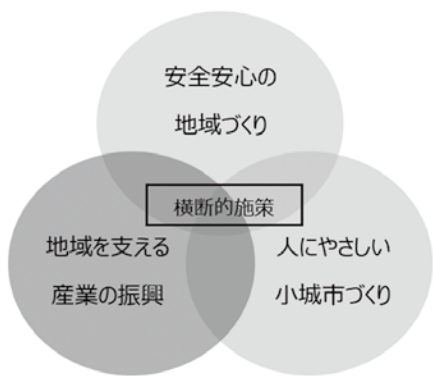
産業部長 各市町でも状況は違うので、現状把握という観点で皆様方の意見を現場に足を運んで聞く必要があると思うので

積極的な意見交換等も進めながら取り組んでいく。

西 地域内での経済環境を高める観点から地元

発注・調達・事業量の平準化をどのように進めるか、また、目標等は。

市長 可能な限りローカル発注の考えで進める。



▲目指すまちの姿

議員活動あれこれ

武雄河川事務所表敬 (3月4日)



総務常任委員会 所管事務調査 (3月11日)



廃棄物中継センター(牛津町)

文教厚生常任委員会 所管事務調査 (3月12日)



小城市生きがいデイサービスセンター  
〒855-0133 小城市

産業建設常任委員会 所管事務調査 (3月13日)



住ノ江漁港付近(言刈町)